

Web 開催

生産哲学・倫理部会研究会

主テーマ：日本人の仕事の価値観と幸福感

～ ナガセインテグレックス 躍進の秘訣に迫る こだわりの経営哲学 ～

令和6年10月10日（木）14:00-16:00

1. はじめに

モノづくりは、How toではなく、生産哲学、生産倫理から始まります。生産原論専門委員会が大事にしてきた考えの一つです。昨今、西洋の価値観を踏襲したグローバル化の大きな流れの中で、私たち日本人は埋没しかかっているようにも思われます。一旦立ち止まって考えることも必要ではないでしょうか。そこで、第3回研究会は、日本を代表する精密工作機械メーカー「株式会社ナガセインテグレックス」の代表取締役社長 長瀬幸泰様をお迎えし、本来、日本人が持っていたはずの仕事と人生の関わりについてお話を伺うことにしました。ここから、NAGASEの開発思想、モノづくりに込めた熱い思いに触れ、躍進の秘訣を探りたいと思います。

2. 研究会の概要

10月10日(木) 14時から17時まで、オンライン形式で講演会を開催しました。当委員会と協賛団体、学生を含め37名の参加がありました。

3. 講演内容の概要

特別講演 「日本人の仕事の価値観と幸福感」

株式会社ナガセインテグレックス 代表取締役社長
長瀬 幸泰 氏

特別講演では、東洋思想と西洋思想を独自に分析し、会社の経験を交えて経営哲学を構築されていました。その哲学をもとに築かれた経営理念は、社員全員の日々の活動の基軸になっています。社員全体が共有すべき会社の思いは、18項目の「NAGASE WAY」にまとめられています。社員は全員が勤務時に携帯しており、愛社精神と共に身近な者として浸透していることが伺えました。

途中、通信のトラブルがありましたが、長瀬社長には快く講演を継続して頂き感謝申し上げます。長年培ってきた経営哲学に基づく、「日本人の仕事に対する価値観」についてその変遷、お金と人との関わりをわかりやすく解説頂きました。なかでもナガセ曼荼羅にまとめられたNAGASEのDNA、その延長線上にあるナガセインテグレックスの目指すべき目標についての熱い思いは感動的で素晴らしい講演でした。講演後の質疑応答では、多くの共感が寄せられ、

「NAGASE WAY」の詳細や、長瀬様の考えについてさらなる知りたいというご意見が出ました。最後に、ナガセインテグレックスにおける新入社員の教育成果など具体的な質問に至るなど活発な意見交換がなされました。

4. おわりに

お忙しいなか、膨大な資料をご準備頂き、ご講演を頂いた長瀬社長に厚く御礼申し上げます。また、Webトラブル解消にご尽力頂きました板津様はじめ、会社の皆様に感謝申し上げます。長瀬様のお話は興味が尽きず、交流会が開けなかったのは誠に残念でした。

次回は、生産と人間部会が企画する令和6年度第4回研究会を、**令和6年12月9日(月)**に開催します。研究会主テーマは、「セイコーエプソン(株)ものづくり塾見学・研究会 ～技能伝承の最先端と温故知新～」としました。会場は、長野県諏訪市にあるセイコーエプソン(株)本社です。講演はエプソンの新井 修様から「セイコーエプソンの若手技術技能人材の育成」と、伊藤昌樹前委員長から「技能者の教育—技能士の評価向上に向けて—」を予定しています。見学会は、エプソンミュージアム諏訪、技能五輪訓練の様子を見学させて頂きます。お忙しいことと存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご臨席賜りますようお願い申し上げます。詳細は、生産原論専門委員会 HP をご覧ください。
<https://spe-lab.mech.saitama-u.ac.jp/principle/pm-index.html>

